

## 第4グループ テーマ

# 地域における文化振興

# 文化振興に関する現状と課題

## 現状

- ① コロナの影響が薄れ、劇場や区民センター、郷土資料館などの文化施設の利用率・観覧者数は回復傾向にある。
- ② 区民意識調査にて、44.5%の区民が、文化資源の保存・活用を重視している。

## 課題

- ① 子ども、障害者、外国人など、多様な方が文化芸術に触れられる機会を増やす、更なる取り組みが求められる。あらゆる主体と連携して魅力的な事業を展開し、賑わいあふれるまちづくりを行う必要がある。
- ② 区内の文化資源や地域文化について、魅力を広く発信するなど、着実に継承し保存していく具体的な方策が必要。

# 区の主な取組①-1

## ◇としま文化の日推進事業

区が進めてきた「文化によるまちづくり」を次世代に継承するため、11月1日を「としま文化の日」とする条例を制定。この日を中心に、「日常にアート・カルチャーがあふれるまちづくり」を推進する、誰もが参加しやすいイベントを実施。



都響スペシャルコンサート  
(無料、0歳から大人まで参加可能)



区民文化祭 みんなのステージ  
(区民の方に発表の場を提供)



TOSHIMA STREET FES  
(民間企業と連携して実施)

## ◇ぞうしがや こどもステーション運営事業

「新たな創造の場づくり」として、アート系NPO法人と共に、雑司が谷地域文化創造館の地下1階及び区民ひろばで読み聞かせ・ダンス・音楽等の親子向けワークショップを実施。



ぞうしがや こどもステーションでのワークショップの様子  
(左 写真:金子愛帆)



区民ひろばへの出張プログラム

# 区の主な取組①-2

## ◇池袋オータムカルチャーフェスティバル事業

### ◆池袋ハロウィンコスプレフェス

官民連携で実施する「池袋オータムカルチャーフェスティバル」のイベント。  
日本最大級のハロウィンイベントで、10周年となる2023年は過去最高となる  
約14万人が来場。コスプレをしなくても楽しめるイベントも多数。



ルールを守って街でコスプレを楽しむ



自慢のコスプレで池袋を歩く 池ハロコスプレパレード



©池袋ハロウィンコスプレフェス2023

### ◆マンガ・アニメフェスin豊島

サブカルチャー関連の施設・産業・文化が集積する中野・杉並・豊島区と  
東京商工会議所が連携して、“マンガ・アニメ”に特化した、  
ブランディング事業を実施。



3区連携事業のチラシ



トシマツハと「トキワ荘のまち」をIKEBUSで回遊



マンガ家育成プロジェクトの現役生とOBOGによるマンガ教室 4

# 区の主な取組②-1

## ◇郷土資料館による歴史・文化の普及・発信事業

豊島区の郷土資料、美術作品、文学資料の収集・保存・研究等を行い、館だよりやワークショップ等を通じて区民に発信。



郷土資料館 常設展示室



学芸員による見どころ解説



ワークショップ「はんこペタペタ！」

## ◇鈴木信太郎記念館の活用事業

フランス文学者である故鈴木信太郎氏の旧宅を、区指定文化財として保存し、地域の貴重な文化資源として区民に公開。

フランス関連の展示やイベントを通じて施設周知を行う。



鈴木信太郎記念館 外観



内観



フランス人落語パフォーマーによる落語



クリスマスオーナメント作り



# 区の主な取組②-2

## ◇雑司が谷旧宣教師館の活用事業

東京都指定有形文化財である雑司が谷旧宣教師館を保存し、区民に公開。ギャラリートークやおはなし会、コンサート等のイベントを通じて施設周知を行う。



雑司が谷旧宣教師館 外観



コンサート



『赤い鳥』と楽しむ、おはなし会  
(『赤い鳥』は豊島区ゆかりの児童雑誌)

## ◇トキワ荘マンガミュージアム管理運営事業

トキワ荘ゆかりの地に、トキワ荘を再現した「トキワ荘マンガミュージアム」を開設。マンガ・アニメによるまちづくりの発信拠点施設として、特別企画展のほか、ワークショップや周年イベントなどを行う。



トキワ荘マンガミュージアム 外観



企画展を見学する小学生



アニメーションづくりワークショップ